

人材育成と雇用の創出を目指して

（株）ロボットと包括連携協定

●問い合わせ先 生涯学習課 生涯学習班（ワイブール）
☎248（5555）

10月28日、人材育成と創業支援を目的として、映画「ALWAYS三丁目の夕日」、「踊る大捜査線」や数多くのテレビCM、CGなどを企画・制作している株式会社ロボット（本社・東京）と包括連携協定を締結しました。

同社は昨年度から本市と共に「合志市クリエイター塾」を実施しており、企画・演出・映像編集に関する講師を務めるなど事業連携に取り組んできました。今後は本市から多くのクリエイターを輩出



荒木市長（左）と株式会社ロボットの加太孝明社長

するとともに、農産物や企業などのPR映像を制作するなど地域産業の活性化や若者の雇用創出を目指していきます。

合志市クリエイター塾とは

コンテンツ関連企業への就労・創業を目指す人や映像・CM制作を学びたい人を対象としたクリエイター養成講座です。株式会社ロボットのトップクリエイターが映像制作に必要な知識と編集技術を、市商工会と地域金融機関が創業に必要な知識を指導し地域活性化を目指しています。



◀▲若者たちがみずみずしい感性で熊本の魅力を発信する技術を学んでいます

人権教育講演会を開きました

LGBTについて理解を深めよう

●問い合わせ先 人権教育推進協議会 社会教育部会（人権啓発教育課内）
☎242（1190）

LGBTとは、レズビアン・ゲイ・バイセクシャル・トランスジェンダーの頭文字をつなげた言葉で、さまざまな性の在り方を持つている人たちの総称です。

9月30日、ともに拓くLGBTIQの会くまもと代表、今坂洋志さんを招いて、人権教育講演会「なぜLGBTの問題は人権の問題なのか」を開催しました。これは人権教育推進協議会社会教育部会が主催したもので、当日は105人が来場。LGBTの基本的な説明だけでなく、当事者の生の声を聞く貴重な機会となり、参加者から大きな反響がありました。

講師の今坂さんは、性教育の研究・啓発活動とともに、多様な性の在り方を持つ人たちが共に暮らせる社会を目指して啓発活動を行なっています。

今坂さんの講演より

人は多様に生まれます。一人ひとり違う顔や体型、肌や髪や目の色、性格や行動パターン、飲食物の嗜好、自分が選び取っている性に関する文化などのほか、実は人の性も多様です。人には「男と女」という2つの性別でくくられない多様な性があると思います。どのような性を持つて生まれようともその一人ひとり



今坂先生の講演に真剣に耳を傾け、多様な性の在り方について学ぶ参加者たち

て取り組んでいます。相手の立場を考え、一人ひとりの違いを認め合い、支え合っていく人権の輪の広がりが大切です。

受講者の声（抜粋）

- ・LGBTという言葉を初めて聞きました。わかりやすい講演で、それぞれの立場の体験談なども聞けてよかったです。
- ・LGBT当事者の3人の方の語り、すごく考えさせられました。ここで話されるまでにきつというんなことと向き合われたのだからと思います、本当にありがとうございました。
- ・知らないことは、相手を傷つけてしまうことになると実感しました。ありのままの自分をお互いに認め合っている社会が、本当の意味で人権を大切にしている社会だと思います。

合志市非常勤職員募集

●平成28年度任用

	職 種	募集人数	業務内容	勤務先	勤務日数・時間	報 酬	条件資格・申込期限
①	保健師 (H29.2.1～)	1人	介護予防事業、総合事業、包括支援センター庶務	高齢者支援課 (西合志庁舎)	週5日 8:30～17:15	日額 7,600円	保健師免許 普通自動車運転免許 ●申込期限 平成29年1月20日(金)
②	学校給食調理員 (H29.1.1～)	1人	学校給食調理、野菜洗浄裁断、食器等洗浄、食材点検、清掃	旧西合志地区の学校給食調理場または学校給食センター	月15日以内 8:15～16:15 ※勤務場所により20分程度違い有り	時給 830円	条件資格なし ●申込期限 12月16日(金)

●平成29年度任用 (H29.4.1～)

	職 種	募集人数	業務内容	勤務先	勤務日数・時間	報 酬	条件資格
③	保健師	1人	介護予防事業、総合事業、包括支援センター庶務	高齢者支援課 (西合志庁舎)	月16日 8:30～17:15	日額 7,600円	保健師免許 普通自動車運転免許
④	介護支援専門員	2人程度	介護予防給付、介護予防ケアマネジメント			日額 8,800円	介護支援専門員資格 普通自動車運転免許
⑤	介護認定調査員	2人程度	要介護認定の訪問調査		月15日 8:30～17:15	日額 7,200円	看護師・保健師・介護支援専門員のいずれかまたは介護認定調査、介護現場での勤務経験を有する人(要普通自動車運転免許)

●申し込み・問い合わせ先 ①③④ 高齢者支援課 包括支援センター班（西合志庁舎） ☎242-1124

② 学校給食センター ☎248-2102

⑤ 高齢者支援課 高齢者保険班（西合志庁舎） ☎242-1109



素敵な人生 素敵なパートナー



男女共同参画推進懇話会
委員 末次 佐代子

「男女共同参画」という言葉を初めて耳にしたのは約20年前です。教育行政に携わっていたころ、後輩が所属していた県男女共同参画課（当時は係）を知ったときでした。もちろん「男女平等」や「レディ'80」などの言葉は聞いたことがありましたが、共同参画という言葉は初めてでした。また、参画は参加と違って計画の段階から参加するので参画なんだということも聞きました。それまで、男女平等といっても表面的であることも多く、高校2年生のころ、物理の先生から「女は物理なんか勉強せんでよか。はよ嫁に行け」と言われたときは、「今時まだそんな人がいるのか」とびっくりし、同時に悲しくなったことを覚えています。今だったら人権問題です。その後も管理職になりました

てのころに、電話で「女じゃなく男を出せ」と言われたこともあり。私は英語教師ですが、20年ほど前から中学校の英語の教科書では、無意識に男性をイメージする「man」という単語は、世界的傾向として使われなくなっています。例えば、次のような言葉です。

- チェアパーソン (議長)
- ファイアー ファイター (消防士)
- ポリース オフィサー (警察官)
- キャビン アテンダント (客室乗務員)

日本語でも、「婦人」ではなく「女性」を使いますし、「父兄」ではなく「保護者」です。男女平等と言われる教員の世界にいてもなお、さまざまな女性に関する人権課題を感じることがあります。張り合うのではなく、全ての人が手を取り合って協力していくことが大切だと思います。教師として、教える子どもたちが協力し合って仲良く人生を歩める真の男女共同参画時代で幸せに生きてほしいと願っています。